

愛知教育大学

「環境研究と環境教育の融合によるエコキャンパスづくり」 プロジェクト 第一回 特別講義

日時 2012年1月11日(水) 13:30～15:30

講師 木村真三氏 (獨協医科大学国際疫学研究室福島分室長・准教授)

演題 原発事故と私たちの環境・健康

～チェルノブイリ・福島から考える～

場所 愛知教育大学・第二共通棟 421大講義室

対象 本学教職員・学生、一般市民

木村真三氏は、福島原発事故の後すぐに、福島県各地を周って放射線測定を開始しました。その活動は、NHKの特集「ネットワークで作る放射能汚染地図シリーズ」(5、6、8、11月放送)や朝日新聞の特集「プロメテウスの罠」(10月から連載中)等で報道されています。また、チェルノブイリ事故についても、ウクライナ国の汚染地域に25年間取り残された住民約1万人の健康調査を続けています。こうした現地調査で得た知見に基づいて、内閣府の「低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ」、文部科学省政務三役勉強会でも重要な役割を果たしています。

今回は、現在、最も活躍している放射線衛生学の専門家である木村氏から、直にお話を伺い、放射線リスクについて大いに学ぶとともに、私たちの環境活動・教育・研究について考えたいと思います。

お問い合わせ先:愛知教育大学保健環境センター・榊原洋子
TEL 0566-26-2368 sakakiba@uecc.aichi-edu.ac.jp